

文化財の保存・活用のためのファンドレイジング（資金調達）活動支援事業

募集要項

・事業趣旨・背景・

文化財の維持・継承には多額の費用がかかります。国や地方自治体等からの補助を受けることが可能な場合であっても、必要な費用の一部は文化財所有者自身が担うことになっています。文化財を確実に後世に残していくためには、戦略的かつ持続的なファンドレイジング（資金調達）が必要となります。

一方で、文化財保護に係るファンドレイジングの必要性を認識しながらも、基本的な知識が足りていない、具体的な動き方や相談先が分からない、といった文化財所有者の方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。より持続可能な文化財の保存・活用を目指して、一歩踏み出したい文化財所有者の皆さんに寄り添い、実際のアクションに繋げるべく、官民共創による寄附促進事業「文化財サポーターズ」の一環として、ファンドレイジング活動支援事業を実施します。

・活動支援事業の基本スキーム・

- 本事業は、ファンドレイジングの専門家との継続的なミーティング（全4回）を通して、文化財所有者自身の資金調達に関する取組を前進させるものです。
 - 具体的には、以下の進め方を想定しています。
 - キックオフミーティング : 申請フォーム（※）記載内容の確認
 現在の課題等のヒアリング
 本支援におけるゴールと各回のアジェンダの設定
 - 活動支援第1回～第3回 : 設定したアジェンダを基に、各所有者の取組の進捗状況の把握、困りごとへの助言、次回ミーティングに向けた課題の提供
 - 第3回終了後 半年以内 : 各文化財所有者から、活動支援を経ての取組・成果について文化財サポーターズ運営事務局に報告
- ※本支援を希望する方には、具体的な相談事項等を事前に申請フォームへ記入いただきます。
- 各ミーティングは、ファンドレイジングの専門家である文化財保存活用コーディネーターが、マンツーマンで対応します。

（活動支援内容の具体例）

- ・ ファンドレイジングに関する基礎的な情報の提供
- ・ 資金面に係る課題の棚卸、課題解決に向けたロードマップの作成
- ・ 独自の寄附募集に向けた受け皿の用意
- ・ ファンドレイジングを含めた文化財の維持継承体制の構築

・申請資格・

- 以下の文化財の所有者（又は管理者）であること。
 - ✓ 国指定等文化財（重要文化財、史跡・名勝・天然記念物、重要有形民俗文化財、重要無形文化財、重要無形民俗文化財、重要伝統的建造物群保存地区、重要文化的景観）
 - ✓ 国登録文化財（登録有形文化財、登録記念物、登録有形民俗文化財、登録無形文化財、登録無形民俗文化財）
- ファンドレイジングを学び、自身の資金調達能力向上を図る意思があること。
- 本事業を受けて具体的なアクションに繋げる意思と一定程度の見通しがあること。（必ずしも新規の取組であることは求めない。過去に実施したものの成果が上がらなかった取組の見直し・改善でも可。）

・活動支援件数・

15件程度を予定

※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

・留意事項・

- 本事業は、ファンドレイジングに関して専門的・技術的見地からの助言等を提供するものです。補助金・助成金交付等の金銭的な支援や、ファンドレイジングを代わりに実施する支援ではありません。また、助言をもとに申請者において実施される資金調達の成功を確約するものでもありません。加えて、ファンドレイジング以外の専門的な知見が必要となるようなご相談（例：法人設立、利活用の具体的な方法等）は、対応できない場合もございます。
- ファンドレイジングの実施にあたっては、関係者（例：所在自治体、周辺住民）の協力を得ることも有効です。協力可能性のある関係者がいる場合には、本事業に積極的に共同参画いただくことをお勧めします。
- 過去、本事業による支援を受けた文化財所有者による再度の申請を妨げるものではありません。ただし、申請状況により、新規申請者を優先させていただく場合があります。

・事業の公式ページ・

事業の公式ページ（文化庁のホームページ）に、本要項と本事業の内容の動画が掲載されています。応募の際にご参考ください。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/94141801.html>

・申請フォーム・

以下の URL から必要情報をご入力ください。

<https://forms.gle/yW5FnB2wNxLBRrP58>

・申請受付期間・

2026 年 9 月 28 日（月）～10 月 16 日（金）

・活動支援先決定後の想定スケジュール（予定）・

2026 年 10 月	キックオフミーティング
2026 年 11 月	第 1 回ミーティング
2026 年 12 月－2027 年 1 月	第 2 回ミーティング
2027 年 2 月	第 3 回ミーティング

※各回のミーティングは、オンラインを基本とします。ただし、上記のうち少なくとも 1 回は対面実施を想定しています（詳細は文化財保存活用コーディネーターと要相談）。

・活動支援終了後の進捗報告について・

第 3 回ミーティング終了後の各文化財所有者における取組・成果については、終了後半年以内に文化財サポーターズ運営事務局に御報告いただくことを予定しています。

・個人情報の取扱いについて・

申請時に記載された個人情報は、下記の用途に限り使用いたします。

- ・ 抽選結果の通知、その後の各種連絡

※抽選結果については、文化財サポーターズ運営事務局よりご連絡いたします。

10 月 23 日（金）までにメールが届いていない場合、メールの受信設定を御確認ください。

本件に関するお問い合わせ

文化財サポーターズ運営事務局（内（公財）文化財保護・芸術研究助成財団）

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12 - 50

TEL 03-5685-2311 FAX 03-5685-5225

e-mail : shinsei@bunkazai.or.jp

Q & A

Q. 助言等をもらえる内容は、ファンドレイジングの方法に関することのみですか。

A. いいえ。前提としての現状の分析・課題の洗い出しや、関係者の棚卸、実施体制の構築など、ファンドレイジングを行う上で必要になることを幅広く支援します。文化財所有者の皆さんからのヒアリングを通して、支援内容を検討します。

Q. クラウドファンディングを実施する予定です。実施中の広報やイベントの開催も行なってもらえますか。

A. いいえ。本事業はファンドレイジングに関する専門的・技術的見地からの助言等を提供する伴走支援になります。必要な資金の獲得に向けた取組は文化財所有者御自身で行なっていただくことが必要です。クラウドファンディング実施中の効果的な広報について助言をすることは可能です。

Q. どのくらいの資金が調達できますか。

A. 本事業はファンドレイジングに関する助言、研修等を行うものであり、実際に資金を調達する事業ではありません。文化財所有者が実施予定の資金調達の取組について、より効果的なものにするための助言等を行うことは可能です。

(参考) 申請フォーム内容

<基本事項>

- お名前 _____
- 所有文化財名 _____
- 文化財類型 _____
(例：重要文化財（建造物）、登録有形文化財（美術工芸品）)
- 肩書き／役職 _____
- 文化財所在地（郵便番号から記載） _____
- Eメールアドレス _____
- ご連絡先電話番号 _____
- ウェブサイトリンク（あれば） _____

<申請前にご確認ください>

本事業は、それぞれの文化財所有者が主体的に取り組む資金調達に係る課題解決に際して、当該分野の専門家が助言・研修等といった伴走支援を実施するという位置づけのものです。補助金・助成金交付等の金銭的な支援や、ファンドレイジングを代わりに実施する支援ではありません。あくまで実施主体は文化財所有者ご自身で、事業終了後には何らかの取組や成果を報告いただく必要があります。その点をご理解の上でご応募ください。

☐ はい

<申請に関する情報>

Q 1. ファンドレイジングの実施経験・関心について教えてください。

- ☐ ファンドレイジングの実施経験は無いが、関心がある
- ☐ ファンドレイジングの実施経験はあり、今の施策をさらに改善したい
- ☐ ファンドレイジングの実施経験はあり、他の施策にも関心がある
- ☐ 今はファンドレイジングに関心はない

Q 2. ファンドレイジングの実施経験が「ある」とご回答いただいた方にお聞きします。

どのようなファンドレイジングを実施されていますか。 ※複数回答可

- ☐ 檀家・氏子制度にもとづいて寄付を集めている
- ☐ 奉賛会・友の会などの会員制度がある
- ☐ 募金箱が敷地内に設置されている
- ☐ オンラインで常時寄付を募るフォームを設けている
- ☐ 文化財修復・お祭り開催に際してなど、大事業実施の際に寄付を募ったことがある
- ☐ クラウドファンディングを実施したことがある
- ☐ 企業寄付や企業協賛を受けている
- ☐ 遺贈（遺産・相続財産の寄付）を受けたことがある
- ☐ 物品寄付を受け付けている
- ☐ その他

Q 2-1. 上記にて「その他」をご選択された方は、可能な範囲でご記入ください。

--

Q 3. 所有文化財の保存・活用のためのファンドレイジングについて、現状と課題を具体的にご記入ください。（関心のある、もしくは検討されている資金調達方法／分野についてもご記入ください）

例：・〇〇の日常的な維持管理には、年間〇〇円程度の費用が必要となるが、継続的な資金調達計画が立てられていない。

- ・クラウドファンディングなどを試みているものの、単発的な取組で終わってしまい、次に繋がらない。
- ・様々な手法を取り入れたいと考えているが、何をどう組み合わせるのが効果的かわからない。

Q 4. ファンドレイジングを実施する場合の人員体制についてご記入ください。

例：所有者とその家族４名で実施、保存会（〇名程度）で実施

Q 5. 本事業に共に参画してくれる可能性のある方がいれば、具体的にご記入ください。

例：市役所の担当課も共同参画予定

Q 6. ファンドレイジングに携わる方の現時点での知見や経験の程度について、具体的にご記入ください。

例：基本的な原稿ソフト（ワードなど）を使用した作業は可能、エクセルでの基本的なデータ管理は行えるが高度なことはできない。

**Q 7. 課題解決に向けて、本事業によって獲得したい知見や、実現したい目標、将来像を具体的に
ご記入ください。(現時点での想定でかまいません)**

例：本事業を通じて△△という知見を獲得し、将来の〇〇という目標の実現に活用していきたい。